

## アオジ（ホオジロ科） 全長16センチ

今年はアオジと出会う機会がいつもより多いようだ。

4月20日、神宮寺のフットパスを歩いていると、突然地面から10数羽の小鳥が飛び立った。その場に立ち止まり静かに眺めていると、次々と地上に戻って来た。

全体的に地味な鳥で、正面から見ると胸から脇腹にかけては黄色みがあり、黒褐色の縦斑が目立つことから、アオジと分った。



地面から目に見えないような小さな餌をつまみあげた。

地上を跳ね歩き、草むらや土の上で何かを探している。

昆虫類、クモ類、草の種子などを採食するとされることから、人間には見えにくいぐらいの小さな餌を見つけ出しているのでしょう。ここ数年間は殆ど目にする事がありませんでした。何か環境の変化が影響しているのかなどと心配していたが、杞憂に終わりました。



胸から脇腹にかけて黄色みが鮮やか。



忙しそうに動き回っていた。

間もなく繁殖期に入ります。

野山の枝先から、軽やかな早春のさえずりを聞くことが出来るでしょう。



ノジコと似ている。



若葉が芽吹き始めた。